

2006 年度関東支部研究発表会

***注意！PCプロジェクターの使用が可能になりました。
但し、PCはご持参下さい。**

問合せ先：日本建築学会関東支部担当：斎藤・山崎 TEL:03-3456-2050 FAX:03-3456-2058
e-mail：shibuken@aij.or.jp

会場 東京都港区芝 5-26-20 **日本建築学会会議室・ホール他**

開催日

2007 年 3 月 8 日(木)

9 日(金)

10 日(土)

審査付き研究報告募集！

[審査付き研究報告情報へ](#)

若手研究報告賞について

[若手優秀研究報告賞情報へ](#)

30 歳以下の方は、奮ってご応募ください。

プログラム開示

・建築雑誌 2007 年 3 月号に掲載予定

・関東支部ホームページにて 2007 年 2 月 16 日(金)以降開示予定

[応募規程](#)

[申込手順](#)

[原稿提出までの手順](#)

[研究報告原稿の執筆・発表要領](#)

[報告集の購入方法](#)

[別刷の購入方法](#)

< 応募規程 >

1. 研究報告の内容

建築に関する学術・技術・芸術に関する最近の研究、統計的資料、調査報告などで未発表のもの。

ただし「大会」で発表したもの、ならびに他学会発表会などに発表したもので特に建築に関連の深いものはこの限りではない。

2. 応募資格

本会個人会員で、共同研究者であっても必ず同様の資格を有する者であること。

(他支部会員も可)。

未入会の場合は、至急入会手続きを取ること。

[入会手続きへ](#)

3. 発表題数・発表講演

応募者は必ず発表会に出席講演すること。

研究報告は、1題につき4頁とする。

講演は1人3題以下とし、1題当たり15分以内とする(発表12分、質疑応答3分)。

応募題数が多い場合はプログラム編成上、発表時間を変更することもある。

4. 研究報告・原稿の採否

研究報告原稿の採否は研究運営委員会が決定する。下記条件等に照らし、関東支部研究発表会の研究報告原稿として不適切と認められるものは採択しない。

a. 内容が商業宣伝に偏ったもの(商品名の使用には注意すること)

b. 応募規定に反するもの(研究発表申込書、本文、発表者等記載不備)

不採択となった場合は2007年2月上旬に本人に通知し、提出原稿を返却する。

5. 著作権について

1) 著者は掲載された研究発表梗概の著作権を当支部に委託する。ただし、当支部は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。

2) 著者が、自分の論文を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された論文をそのまま他の著作物に掲載する場合は、出版権に関わるので当支部に申し出る。

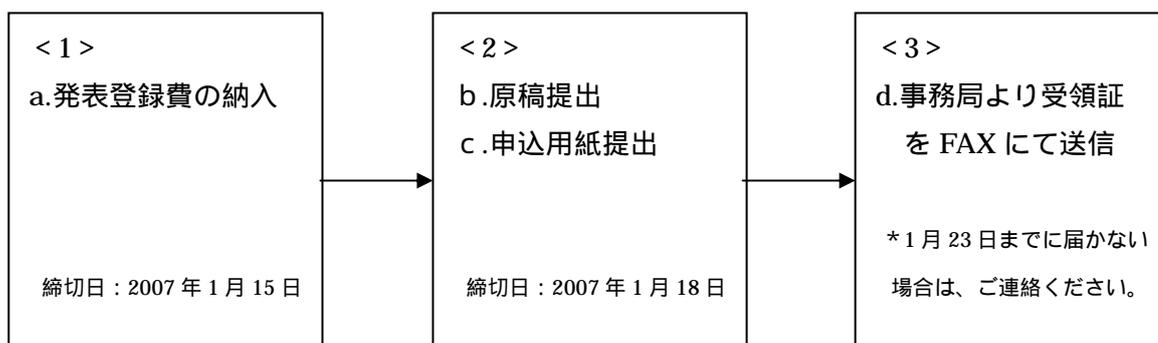
3) 編集著作権は、当支部に帰属する。

< 申込手順 >

1. 原稿提出までの手順 [...](#)
2. 研究報告原稿の執筆・発表要領 [...](#)
3. 報告集の購入方法 [...](#)
4. 別刷の購入方法 [...](#)

< 原稿提出までの手順 >

< 70 - >



< 1 > a. 発表登録費の納入

登録費 2,500 円 (2 題発表する場合は、5,000 円、3 題発表する場合は、7,500 円)

納入方法は、下記の 4 種類の中から選択してください。

* 「審査付き研究報告」の審査を希望される場合は、審査料 1 題につき 5,000 円を一緒にお振込ください。

納入締切日：2007 年 1 月 15 日(月)

(1) 銀行振込

下記銀行口座にお振込ください。

東京三菱銀行 京橋支店 口座番号 1719754

口座名義 社団法人日本建築学会関東支部

(2) 現金書留

下記までご送付ください。

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

(社) 日本建築学会関東支部「2006 年度支部研登録費」宛

(3)持参

下記まで直接おこしください。

東京都港区芝 5-26-20 建築会館 2 階

(社)日本建築学会関東支部事務局

[案内図へ](#)

(4)請求書払い

請求書払いは、下記のいずれかに該当する場合に受付ます。「請求書払い申込書」に必要事項をご記入のうえ提出してください。

(1)大学関係ならびに公的機関

(2)図書館

(3)法人会員登録をしている会社

[請求書払い申込書](#)

<2> b. 原稿提出

「応募規定」「研究報告原稿の執筆・発表要領」に従って執筆してください。

* 原則として原稿は返却致しません。

[応募規程](#)

* 提出後の訂正は一切認めません。

[研究報告原稿の執筆・発表要領](#)

提出方法は、下記の 2 種類から選択してください。これら以外の方法で提出されたものは受理致しません。

(1)郵送

下記までご送付ください。

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

(社)日本建築学会関東支部「2006 年度支部研原稿提出」宛

(2)持参

下記まで直接ご持参ください。

東京都港区芝 5-26-20 建築会館 2 階

(社)日本建築学会関東支部事務局

[案内図](#)

提出締切日:2007 年 1 月 18 日(木)17:00

(締切日に遅れたものは受理致しません。郵送の場合も締切日必着です)

c. 申込用紙の提出

申込用紙には下記の事項を明記し **2 部提出**してください(A4 サイズ用紙、様式自由、2 部)

(1)研究題目

(2)著者名および勤務先(連名の場合は発表者に 印を付す)

(3)著者の会員番号(連名者についても会員番号を明記してください)

(4)連絡先住所・電話・FAX・e-mail

(5)研究報告の部門分類・細分類(別表参照)

[別表へ](#)

(6)発表部門を以下の中から選択してください。

(本支部研究発表会では、下記の 9 種類の発表部門を用意しています。(5)研究報告の部門分類 10 以降の項目は、用意しておりませんので以下の 9 発表部門の中から一番適当と思われるものを選択してください)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 材料・施工 | 6. 農村計画 |
| 2. 構造 | 7. 都市計画 |
| 3. 防火 | 8. 建築経済・住宅問題 |
| 4. 環境工学 | 9. 建築歴史・意匠 |
| 5. 建築計画 | |

(7) 発表登録費納入方法

銀行振込を利用の場合は、「銀行振込」・振込日・振込人名・金額・内訳を明記してください。

現金書留を利用の場合は、「現金書留」・金額・内訳を明記してください。

持参の場合は、「持参」・金額・内訳を明記してください。

(8) 「若手優秀報告賞」の審査を希望する者は、「若手：審査希望(生年月日)」を明記してください。

* 1976年4月1日生まれ以降の方が対象です。

(9) 「審査付き研究報告」の審査を希望される方は、「審査付き研究報告：審査希望」と「評価カテゴリー一つ以上」明記してください。

また、審査料1題につき5,000円を発表登録費と一緒にお振込ください。

< 3 > d. 事務局より受領証送付

研究報告原稿と発表登録費の納入の確認が出来次第、受領証を発行致します。

受領証が2007年1月23日までに届かない場合は、事務局までご連絡ください。

受領証は、下記の方法により送付致します。

(1) 研究報告原稿を郵送にてご提出の場合は、FAXにて送付します。

(2) 研究報告概要を持参された場合は、その場でお渡しします。

< 研究報告原稿の執筆・発表要領 >

1. 原稿執筆上の注意

1) 研究報告原稿は「目的」「方法または経過」「結果」の順に記す。また調査報告資料の発表もこれに準ずる。

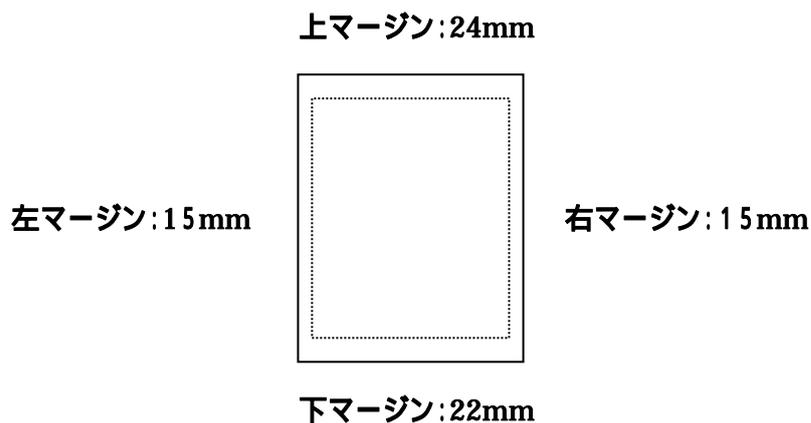
2) 継続研究にあっては、最近における前発表の掲載書名、掲載年月、号数、発行年月日等を必ず前書きする。他学会等に発表したものについても同様とする。

2. 研究報告原稿は聴講者に内容を徹底させ、併せて講演時間を短縮、かつ会員にも講演内容を速報報告するために印刷する。

3. 研究報告原稿は、作業の合理化、ミスプリント防止のためオフセット印刷とする。応募者が書いた原稿をそのままA4判のサイズで印刷。

4. 原稿は必ず墨書き、ワードプロセッサ、タイプ打ちまたは黒インクを使用して書くこと。A4サイズ用紙(用紙は特に指定しないが、白色のものを使用すること)の上下左右に下記のマージンを取り、その

範囲内に配置すること。



1ページにつき2,000字程度、4ページで8,000字程度(2頁原稿の場合は、4,000字程度)が納まるよう文字の大きさ・段組・行数等を設定すること。なお、文字を極端に小さくして、文字を増すことは不採用になる恐れがありますので注意すること。

5. 原稿用紙1枚目には、下記の項目を記載すること。

- 1) 原稿題目(注:本文より大きなポイントにすること。)
- 2) 発表部門(別表参照)
- 3) 細分類(別表参照) [別表](#)
- 4) キーワード1個~6個程度
- 5) 会員種別
- 6) 発表者名(連名の場合は講演発表者名を筆頭に記し、その名前の前に を付ける。

原稿用紙2枚目・3枚目は本文用にあてること。

4枚目の右側の一番下の行に勤務先・職名・学位を記すこと。

[テンプレート\(word\)](#)

[サンプル\(pdi\)](#)

(* サンプルを出力する際は、設定の「用紙に合わせる」のチェックを外してください。
「用紙に合わせる」をチェックして出力した場合、原本と異なるサイズで印刷されます。)

6. 本文(見出しとも)の文字は、多少上下の行間をあけると、きれいな出来上がりとなります。

誤植等の訂正は、訂正箇所が透けないように紙を貼って書き直すこと。

7. 図および表は適当と思われる場所に書き込むか、トレーシングペーパーに書いて貼り込む。そのまま

原稿用紙と同時に撮影縮写します。なおゼロックスなどにより複写されたものは本文と同程度のインクの濃度とする。トレーシングペーパー等、別の紙に書かれたものを貼り込む場合は上部のみをり付けて貼ること。

図番の説明は図の下側に、表番の説明は上側に記すこと。

なお、図・表をアミ目で表現したい場合は、スクリーン等貼るか、墨で点を打つ。

8. 写真は本文原稿に貼り付ける。

9. 原稿は汚したり、しわにならないように注意すること。

10. 機器の利用について、発表における表現自由度の拡張を目的としてPC用プロジェクターとOHPを各部屋に準備します。 PC用プロジェクターの利用について

11. プログラム・会場等の周知については、2007年2月16日以降の関東支部ホームページにて行う。ホームページを利用できない場合は、事務局までご連絡ください。FAX・郵送等にてご案内致します。

< 報告集の購入方法 >

代金

報告集 : 6,000 円 (材料施工・構造・防火・環境工学)

報告集 : 6,000 円 (建築計画・農村計画・都市計画・建築経済・住宅問題・建築歴史意匠)

報告集 ・ セット販売価格: 10,000 円

* 報告集は、当日直接会場にて販売致します。

請求書払い

請求書払いは、下記のいずれかに該当する場合に受付ます。「請求書払い申込書」に必要事項をご記入のうえ提出してください。

- (1) 大学関係ならびに公的機関
- (2) 図書館
- (3) 法人会員登録をしている会社

[請求書払い申込書](#)

< 別刷の購入方法 >

代金

別刷 50部: 2,000 円

別刷 100部: 3,000 円

別刷 200部: 4,000 円

別刷 300部: 4,500 円

予約申込み方法

別刷は予約販売です。

引渡は、発表会開催期間中は会場受付にて、発表会以降は日本建築学会関東支部事務局にて行います。

送付を希望される場合は、その旨ご指示ください。着払いにて送付致します。

別刷は下記のいずれかでお申込ください。

申込締切日:2007年2月5日(月)17:00

[案内図へ](#)

【1】持参

申込み用紙に必要事項を記入し、料金と共に日本建築学会関東支部事務局までご持参ください。

[申込み用紙へ](#)

[案内図へ](#)

【2】現金書留

申込み用紙・料金・返信はがき(返信宛名を記入してください)を下記まで郵送してください。折返し引換券を送付致します。

住所:108-8414 東京都港区芝 5-26-20

(社)日本建築学会関東支部 支部研購入係宛

[申込み用紙へ](#)

【3】銀行振込

東京三菱銀行 京橋支店 口座番号1719754

口座名義 社団法人日本建築学会関東支部

上記銀行口座に料金をお振込ください。

振込の後、下記のいずれかの方法でお申込ください。

< A > メール

必要事項(申込み用紙と同じ内容)を記載し、下記アドレスへ送信してください。

メールの件名欄に「2006年度支部別刷注文」

とご記入ください。

入金を確認の後、返信メールにて引換券を送信致します。

メールアドレス: shibuken@aij.or.jp

[申込み用紙へ](#)

< B > FAX

申込み用紙に記入し下記まで FAX してください。

入金を確認の後、FAX にて引換券を送付致します。

FAX:03 - 3456 - 2058

[申込み用紙へ](#)

< C > 郵送

申込み用紙に記入し、返信はがきを添えて下記まで郵送してください。

入金を確認の後、引換券を送付致します。

住所:108-8414 東京都港区芝 5-26-20

(社)日本建築学会関東支部支部研購入係宛

[申込み用紙へ](#)

【4】請求書払い

請求書払いは、下記のいずれかに該当する場合に受付ます。「請求書払い申込書」に必要事項をご記入のうえ提出してください。

(1)大学関係ならびに公的機関

(2)図書館

(3)法人会員登録をしている会社

[請求書払い申込書](#)